

# 名古屋大学学生寮アンケート調査報告

## 国際嚶鳴館の施設、運営、人間関係に対する寮生の認識

石川クラウディア ・ 山田直子

### I アンケート調査内容と方法

#### 1. 調査の目的：

本アンケート調査は、国際嚶鳴館に居住する281名の全寮生（日本国籍：222名、外国籍：59名）を対象として2007年11月28日から12月14日の期間に実施した。寮生活は学生生活の重要な部分であり、また学生生活を豊かにするものである。多国籍・多地域出身の寮生がともに生活する国際嚶鳴館（以後、嚶鳴館）は、文化的に多様な環境の中で生活する機会を提供している。名古屋大学学生ハウジング調査WGは嚶鳴館の生活環境、および学びの環境をさらに充実させるため、また5年目を迎えた嚶鳴館のあゆみを振り返るためにこの調査を行った。

その目的は：1）寮生の生活環境に対する満足度を測り、2）寮生の生活環境や福利厚生向上のための参考資料とし、さらに3）嚶鳴館での生活に関する適切な情報と助言を将来の外国籍寮生に提供するための参考資料とすることとした。

#### 2. 名古屋大学学生ハウジング調査WGメンバー構成：

本調査は留学生センター短期留学部門（石川クラウディア、山田直子、橋田るみ、古賀夕扇）、国際学生交流課（横井利行、岡嶋静江）そして国際嚶鳴館自治会の共同プロジェクトである。まず短期留学部門と国際学生交流課とが議論を重ねながら、企画を立案し質問票を作成した。関係部局との調整・交渉は横井が担当し、寮生への周知、アンケートの配布および回収は自

治会が協力した。さらに収集したデータの整理および統計作成を橋田と古賀、分析・報告書執筆を石川と山田が行った。

#### 3. アンケート調査の内容：

アンケート用紙は日本語と英語によって作成され、以下のセクションで構成されている。

- A. 基礎的な質問（Q1－Q5）
- B. 嚶鳴館に関する情報の入手について（Q6－Q9）
- C. 寮の施設や設備について（Q10－12）
- D. 嚶鳴館の運営について（Q13－18）
- E. 嚶鳴館での人間関係について（Q19－31）
- F. 最後に〈自由記述欄〉（Q32）

#### 4. 解説：

- 1）アンケート調査の数量的な分析結果は、円グラフと棒グラフによって表されている。多くの結果は全体の数値を男性と女性、日本国籍寮生と外国籍寮生などのように、比較的に提示している。このような分類化を通してアンケート結果を概観すると、寮生の要求をよりの確に示し、生活環境と福祉を向上するために、より明確なデータを与えてくれる。
- 2）回答者に対し、当てはまる程度を1（まったくない）から5（よくある）のいずれかを選択することを求めた質問の結果は、棒グラフによって示している。主観的ではあるものの尺度4以上の肯定的な評価には★印を、3未満の否定的な評価には▲印を付けて、棒グラフを読み取る便宜を図っている。

#### 5. 回答者数とその構成：

回答者数：63名〔嚶鳴館全寮生（281名）の22.4%〕

分類	全体	男子寮生	女子寮生	日本国籍寮生（全）	日本国籍寮生（男子）	日本国籍寮生（女子）	外国籍寮生（全）	外国籍寮生（男子）	外国籍寮生（女子）
寮生数	281	204	77	222	175	47	59	29	30
回答者数・割合（ ）	63 (22.4%)	27 (13.2%)	36 (46.8%)	2 (14.4%)	15 (8.6%)	17 (36.2%)	31 (52.5%)	12 (41.4%)	19 (61.3%)

Ⅱ. アンケート調査結果の分析

A. 基礎的な質問

問 1) 出身地域

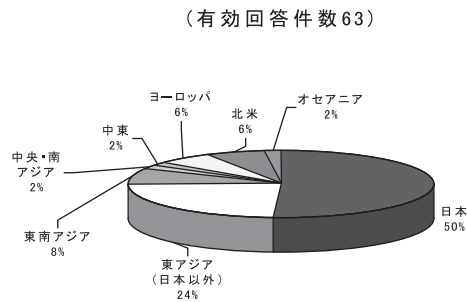


図 1 出身地域

図 1 の地域別では、回答者のほぼ半数（32人）が日本出身であり、また、外国籍寮生 31 人の中、アジア出

問 2) 性別

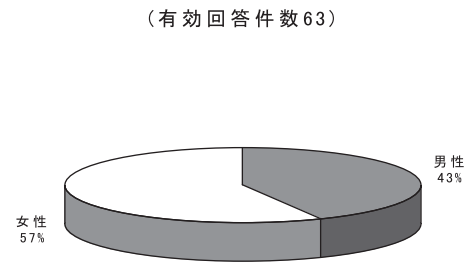


図 2 性別

身の学生が 68% を占めている。外国籍寮生を漢字圏と非漢字圏に分けると、前者が 48%、後者が 52% である。

問 3) 学生身分

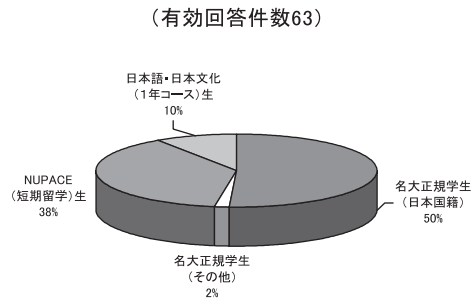


図 3 学生身分

日本国籍寮生は全員が正規学生であるのに比べ、外国籍寮生の 97% が一年間以内滞在者の短期留学生及び日本語・日本文化研修生である (図 3、図 5)。更に、入居条件として学部学生の中に制限されている日本国籍寮生と異なり、外国籍寮生の中に大学院生 (博士前期・後期課程) が入っていることから (図 4)、両者の寮生活に対するニーズおよび期待に多少の差が出ることが考えられる。

問 4) 学年

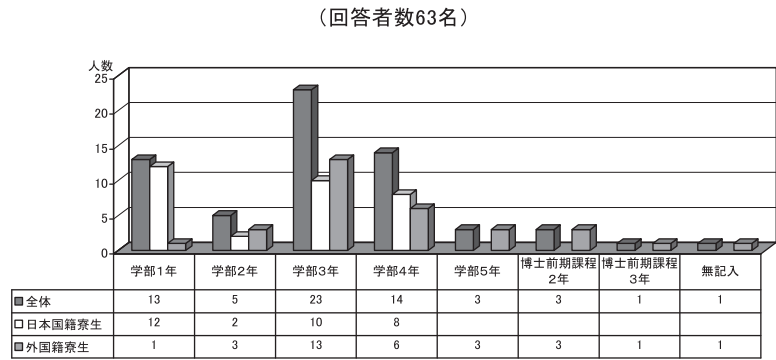


図 4 学年

## 問5) 入居時期

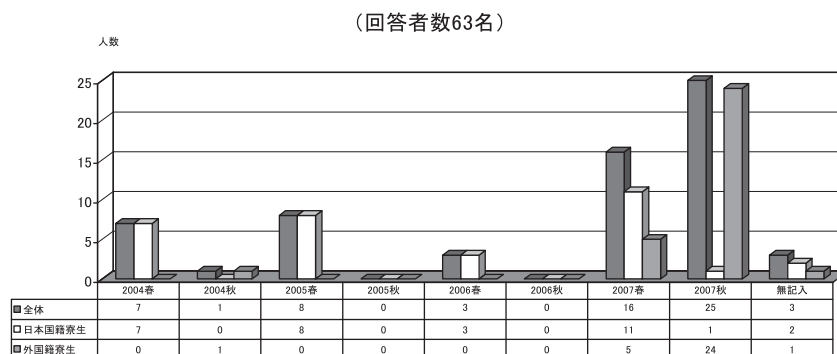


図5 入居時期

## B. 嚶鳴館に関する情報の入手について

### 問6) 嚶鳴館の入居前にどの程度、下記の情報を受け取っていましたか？

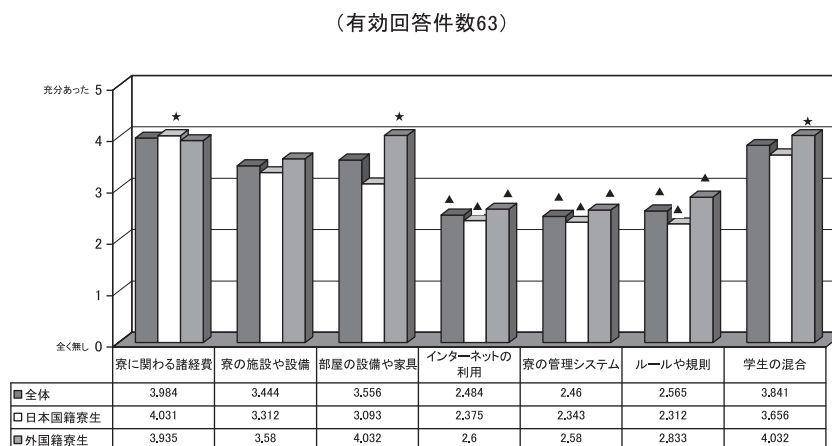


図6 入居前にあたっての情報取得

図6では、入居前に十分に受け取っていた情報とそうではない情報に明瞭な差異が見られる。国籍を問わず、「インターネットの利用」、「寮の管理システム」、および「ルールや規則」の項目においては、寮生全員への情報伝達が不充分と見て取れる。一方、「部屋の設備や家具」の状況に関しては、仮に同じ情報が与えられているとしても、滞在期間の長い日本国籍寮生はより詳細なものを要求していると考えられる。

### 問7) 嚶鳴館の入居前にどのような情報があれば有益であったと思いますか？(自由記述)

この質問に対する回答者数は全体回答者数(63名)

の59%におよび、日本国籍寮生19名、外国籍寮生18名、計37名であった。

全体的に見ると、寮生が入居前に求めている情報の中に特に多く取り上げられたのは、①部屋の見取り図・収納スペース(6件)、②家具・設備・(寮室・共用)(15件)、③共益費・公共料金(6件)、④BK(ブロック会議)・行事(8件)、⑤管理制度・ルール(5件)、⑥インターネット(7件)に関するものだった。どちらかというと、寮のハード面についての情報要求が多かった。

まず、寮室(単身室)については、見取り図、写真など、部屋や家具にかかわるデータが必要との指

摘を受けた(15件)。「部屋に家具をおけるスペースがどのくらいあるか分かった方がよい。例えば、部屋の見取り図があると便利だと思う」、「部屋の広さ(m<sup>2</sup>ではなく何畳か明記してほしい…)」、「家具はどのようなものがあるか。詳しく」、「家具、部屋にあるもの全ての情報(ハンガーとか)…」、「Residential facilities and equipment, individual room equipment and furnishings」などである。

入居前に費用に関するより細かい内訳を知りたがった寮生も少なからずあった。特に光熱費・水道費・ガス代など、寮費以外の費用とその契約・支払方法についての情報があればよいとの意見があった。さらに、「…more lifestyle information, such as how long we have to wait to get the Internet working…」というようなインターネットへの接続に関する情報の充実が求められている。

寮生活のソフト面に移ると、挙げられていた課題はBK・行事、そして寮の管理制度・ルールに関する情報伝達である。「BKや寮内での生活ぶり。規則や申し合わせ事項が知りたかった」、また「寮自治について、どのような年間行事があるか、拘束時間はどのくらいか。…学校側がどの程度まで斡旋や立ち入ってくるかなど」のような指摘である。とにかく、入居後、出席が義務付けられているBKの開催や時間を拘束されるのを嫌う寮生が少なくないと見て取れる。

あえて、日本国籍寮生と外国籍寮生の意見を分けると興味深い結果が現れる。前者から求められている情報は部屋の間取り、家具や設備に集中する傾向が見られることに対して、後者に重視されているのは、ライフスタイルに関する情報(インターネットアクセス・寮付近のお店や娯楽など)である。これは、日本語能力の差異が影響している結果でもあるが、それ以上に、寮における滞在期間が情報ニーズを左右するのが見て取れる。滞在期間の短い寮生は、快適さよりも便宜を優先すると考えられる。

最後に、「Everything has been in detail. It is perfect!」のような肯定的なコメントも2件あったが、全般的な意見集約から、大学が提供している寮情報の不足があるということが強く印象に残る。直接に海外から入居する学生について、より細かい情報および図や写真を利用したウェブサイトの準備が進めば改善につながるであろう。しかし、日本国内から入居する学生に対しては、さらに手厚い対策が可能かと思われる。「入居前には一般の不動産業と同じような詳細説明をしてもらいたかった。」「実家に郵送された資料に居室の見取り図を同封して欲しかった。支援課に入居前に問い合わせたところ取りに来るように言われて…電話対応がとても悪かった。」との記述から、入居前の寮見学や説明会などの機会を設けたら有効ではなかろうか。大学側のサービス意識も課題となっている。

問8)「嚶鳴館オリエンテーション」やパンフレット、印刷物等、入居後まもなく受け取った情報はあなたの寮生活などに役立ちましたか？

(有効回答件数63)

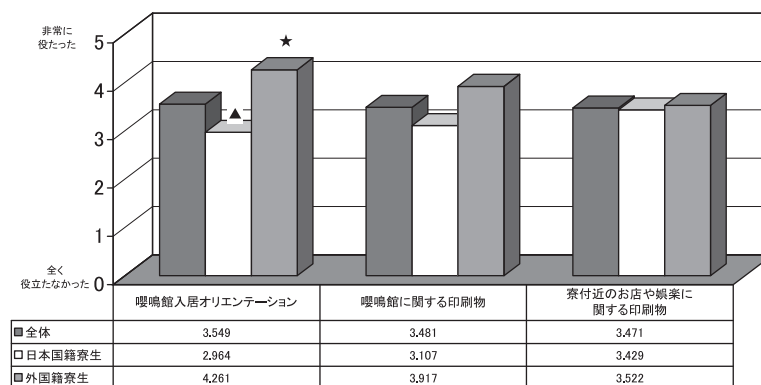


図7 受け取った情報の有用性

**問9) オリエンテーションや、嚶鳴館とその周辺に関する印刷物をどのようにすれば改善できるでしょうか？（自由記述）**

この質問に対する回答者数は全体回答者数（63名）の52%におよび、日本国籍寮生17名、外国籍寮生16名、計33名であった。

まず、入居オリエンテーションの仕方に関して、入寮前に行われた方が有益だとの意見は日本国籍寮生から3件があった。さらに、「あまり記憶にない」（4件）といったコメントから、日本国籍寮生向けのオリエンテーションが形式的なもので、寮生活の詳細は紹介されていないことが判る。一方、別に行われている外国籍寮生向けのオリエンテーションに関する意見を見ると、渡日直後で疲れているから、短くしてほしいとの相対する要望が3件もあった。また、「Written information should be given before the orientation, so that residents can raise questions about additional information they want to gain」のように事前に配布資料をもらえば、オリエンテーションの時間をより効果的に使えるとの指摘もあった。

また、オリエンテーションや印刷物の内容をよく評価している寮生もいる（5件）一方で、様々な改善案出されていた。特に、「The orientation should direct attention to all possible additional expenses connected to a stay at Ohmeikan such as gas or water. People might assume that these costs are already covered by the monthly rent」（2件）というように、寮費以外の費用（公共料金・インターネット接続など）に関して、より具体的な情報が求められている。

嚶鳴館の周辺に関する情報への充実も必要とされている（6件）。「周辺の情報が載っている印刷物は地図が分かりにくすぎた…」、「薬が買える店。家具など、ジャンル別の店一覧」、「…outdated information」などである。日本国籍寮生の場合、先輩に聞いたり、インターネットで調べたりして、情報取得が出来たとのコメントもあったが、日本語能力が中級以下の外国籍寮生はそういった方法が利用できないと思われる。彼らにとって、寮・寮付近に関する正確な配布資料の充実だけではなく、アップデートしやすい寮ウェブサイトの構築を検討する意義もあると考えられる。

最後に、現行のオリエンテーション内容に欠けている一つは物理的なものではなく、ライフスタイル・アドバイスである。それは「実際に生活している人の声を

載せると（聞かせると）効果的では？『具体的にどのようにして生活しているのか』それは寮生活も含めた大学生活全般のことを示しています。『寮に入る』というだけではなく『大学にも入学するし』、『地元からも初めて一人で出てくる』ことになる人も多いので『寮生活』『一人暮らしと団体生活』『大学生活』の観点を中心に考えてもらいたかったです。」というものである。

**C. 寮施設や設備について**

**問10) 自分の部屋や中の設備に満足していますか？**

図8をみると回答全体の平均値がすべて3.6以上を示しており、寮生は概ね自分の部屋とその中の設備に満足していることがわかる。5年前に新しく建築された近代的な寮であり、備え付けの家具やトイレ・ユニットバス等の設備はまだ老朽化していないということが大きな理由であろう。特に注目すべきは外国籍寮生の回答は4を超えていることで、満足度が非常に高いことがうかがえる。一方で、日本国籍寮生は3を下回ることはないものの、外国籍寮生ほど満足感を得ていないことがわかる。これは、半年あるいは1年という短期間の滞在が前提である外国籍寮生と、数年間継続して居住する日本国籍寮生との住環境に対する認識の差が一因であると思われる。

**問10-a) 前項で1、2を選択した方はその理由を記入してください。（自由記述）**

合計で46件の記述式回答が得られた。外国籍寮生のみを対象とした項目「マットレス・リネン」を除くと、回答全体の割合は日本国籍寮生が33件に対し、外国籍寮生の回答は7件と大きな差が生じている。これは、外国籍寮生は部屋や部屋の中の設備に対して非常に高い満足度を示していること、長期的に嚶鳴館を生活の場とする日本国籍寮生がより快適な住環境を望む意識が回答数の差を反映していると思われる。明らかになった不満点を具体的にみると、部屋全般についての不満の理由として、「部屋の狭さ」が最も多く指摘されている（日本国籍寮生6名、外国籍寮生2名）。日本人寮生の場合は入居期間が長期化するにつれて本や身の回りのものが次第に増え、それらを収納するスペースが不足することに問題の原因があるのではないと思われる。2番目の理由として、「防音が十分でない」ことが挙げられている（日本国籍寮生2名）。また防音

(有効回答件数59)

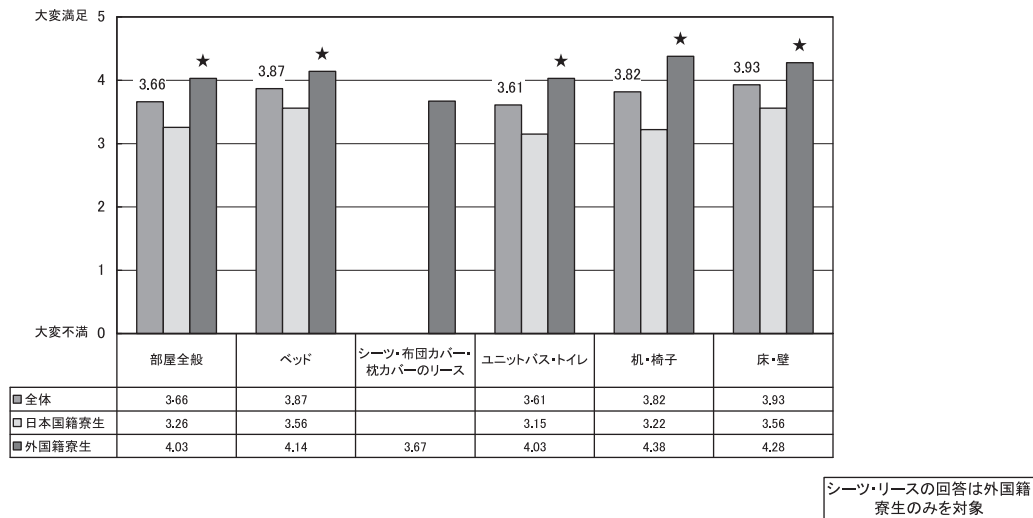


図8 部屋および部屋の中の設備に対する満足度

については、部屋の中の設備「床・壁」の項目においても、壁が薄いことで隣の部屋や屋外からの音が入りやすい状況を2名（日本国籍・外国籍寮生各1名）が指摘している。その他の設備については、ベッドや机などの備え付け家具が大きすぎるという意見が多くみられる。ベッドについての不満とその理由を6名が回答しているが、「必要ない・布団が良い」（3名）あるいは「大きすぎる」（3名）という意見であった。また机や椅子についても同様で、11名の回答のうち8名が「大きすぎる」と指摘している。外国籍寮生のみを対象とした質問項目の「マットレス・リネンのリース」に関しては、6件の回答が得られた。意見の内容をみると、「I did not know Ohmeikan provide this service, so I took my own. I wasted a lot of time and money.」という不満や、シーツ換えの頻度を増やしてほしいという要望、「uncomfortable pillow」という感想の範囲におさまリ、レンタルサービスそのものが不要であるという意見は皆無であった。

#### 問10-b) 〈自分の部屋や中の設備〉前頁の問題はどのようにすれば解決できると思いますか？（自由記述）

前項では46件の問題点や不満が提示されたものの、個々の問題に対する解決策の提案は22件と半数に満たなかった。回答者の内訳は、日本国籍寮生14名、外国籍寮生8名で、男子寮生9名、女子寮生13名となった。提

案内容の傾向としては、備え付けの机・椅子・ベッドが大きすぎるという指摘が9名で、すべて日本国籍寮生からの提示であった。解決策として、「入寮前に机、椅子、ベッドなどが必要か否かの希望を取る」（2名）、「不要になったら一時的に撤去してもらいたい」（1名）、「必要ない」（1名）、「小さなものにしてほしい」（5名）などの意見がみられた。外国籍寮生の意見は、マットレス・リネンのレンタルに関するものがほとんどで、「I would appreciate it if I could be given some information as to the time of the bed-linen service in advance. I just missed every service time.」のように交換日時のお知らせを事前に行ってほしいという希望が2名から寄せられた。

#### 問11) 下記の共有スペース、共有施設の機能や使用状況に満足していますか？

図9を見る限り、すべての項目にわたって全体の数値が3以上を示しているため、共有スペースや共有施設に対する大きな不満の存在を示唆していない。しかし日本国籍寮生の「キッチン」と「駐輪場」の満足度はそれぞれ3と2.871という数値がでており、注意を要するポイントであろう。以下に続く記述式回答からは、共有スペースや共有施設の利用をめぐり、強いストレスとして感じている寮生が多く存在していることが読み取れる。



(有効回答件数63)

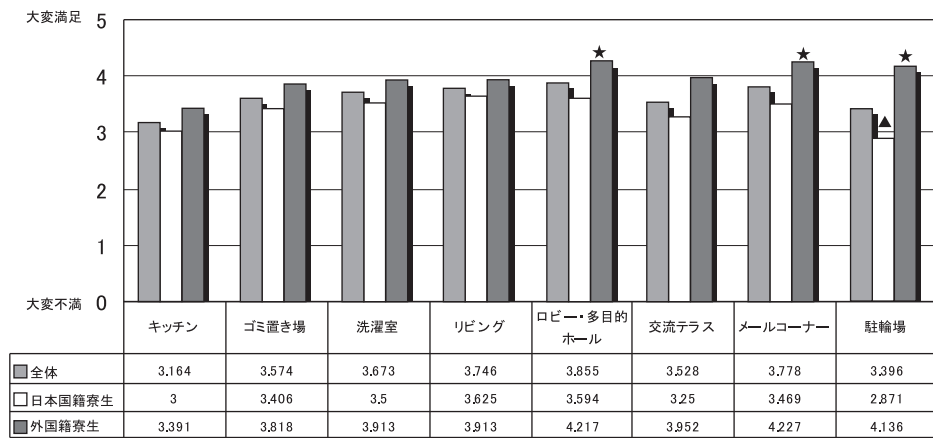


図9 共有スペースの機能や利用状況に対する満足度

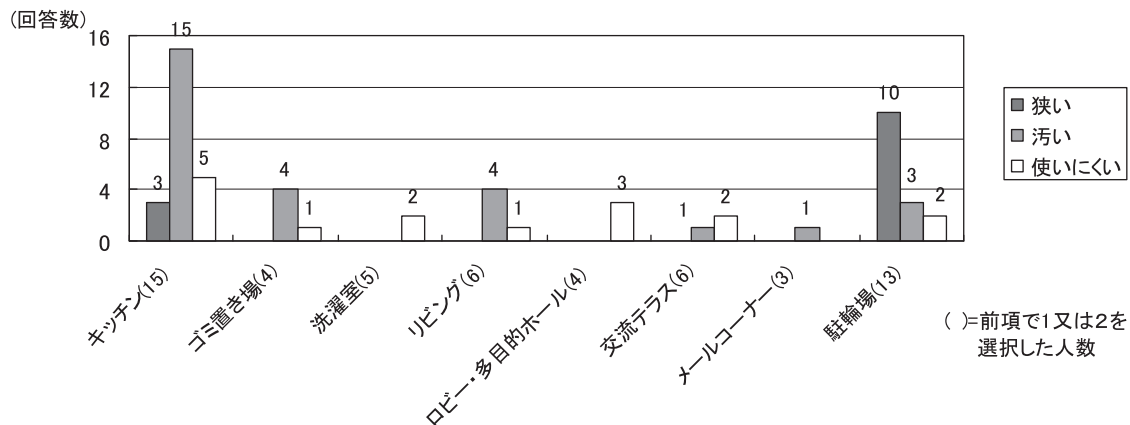


図10 共有スペース・共有施設に対する不満の理由

問11-a) 〈共有スペース，共有施設〉前頁で1又は2を選択した方はその理由を選んでください。(複数回答可)

図10が示すように、不満である理由を選択する回答では、キッチンと駐輪場に対して多くの意見が提供された。まず、キッチンに対する不満の理由として、「汚い」ことを挙げる寮生が多いのが特徴である。前項で不満を示さなかった（1又は2を選択しない）にもかかわらず、「狭い」、「汚い」、「使いにくい」のいずれかを選択している寮生が8名存在する。前項の質問で出た数値によって、寮生がキッチンに関して強い不満を抱いているという結果を導くことはできないが、実際には問題が存在していることは明確であろう。次に、

キッチンをめぐる問題についての記述式回答は4件あった。そのうち2名の日本国籍寮生（男性1名、女性1名）は「留学生の利用の仕方が悪い」として問題を引き起こしているのは「留学生である」とストレートに表現している。フロアの共有施設を利用する日本国籍寮生と外国籍寮生の間のより活発で円滑なコミュニケーションによる問題解決の必要性が強く望まれる。二つ目の問題は、駐輪場についての指摘で、10名が「狭い」ことを不満の理由として挙げている。同時に、記述式回答の中では、「決められた場所に駐輪されてない」ことや、「駐輪場が整理されていない」という指摘、さらに「寮生ではない人が駐輪している」等の具体的な理由が挙げられている。

**問11-b) 上記の問題はどのようにすれば解決できると  
思いますか？（自由記述）**

この質問に対して26件の記述回答が得られている。その内訳は日本国籍寮生19名、外国籍寮生7名となっており、男女の回答割合はちょうど半数ずつであった。日本国籍、外国籍に関わらず提示された解決策のほとんどが、キッチンと駐輪場の利用方法に関するものである。キッチンの利用を改善する方法として、7名が「注意喚起」を解決策として提案している。なかでも日本国籍の女子寮生（3名）は「留学生に対して適切に利用することを呼びかける」ことが必要であるとする率直な意見を述べている点が注意を引く。また、もう一つの問題である駐輪場の利用については、駐輪場そのものを拡大する（7名）という意見が多数を占めたが、「寮の代議員による取り締まりの強化」を望む声（2名）も出ており、利用方法の改善がまず先行して試みられる必要性を示唆している。これら駐輪場利用の改善をめぐる意見はすべて日本国籍寮生によるも

のであった。

**問12) 自分の部屋でインターネットを利用しています  
か？**

図11が示すとおり、回答者全体（63名）のうち81%の寮生がインターネットの契約をし、自分の部屋で利用していることがわかった。また短期滞在者である外国籍寮生のインターネット利用率（68%）は、日本国籍寮生（94%）よりも低いことが理解できる。

**問12-a) インターネットの契約は容易でしたか？**

回答者全体のうち64%が容易であったと回答しているが、25%が困難だったと表明しており、容易だったと答えた割合は日本国籍寮生の方が多い。

**問12-b) 前項で2.「困難だった」を選択した方は、その理由を選んでください。（複数回答可）**

困難であった理由として16名からの回答が得られ

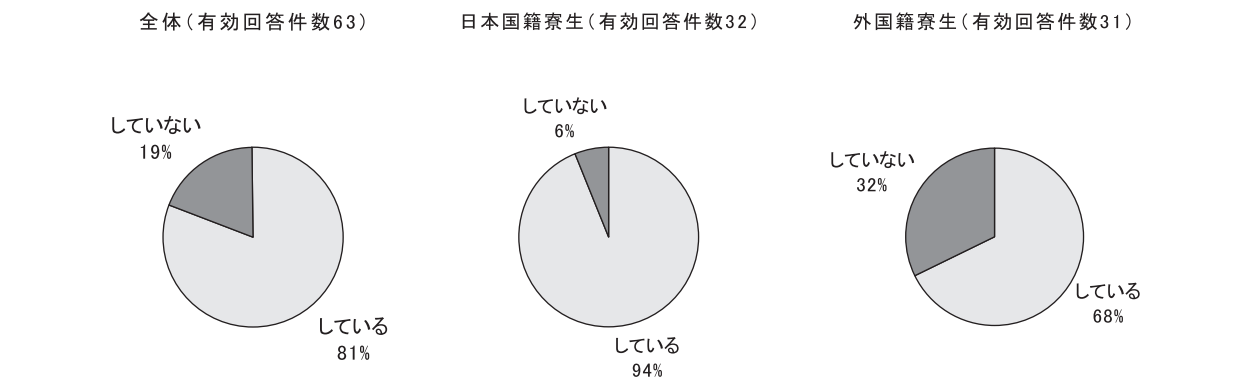


図11 インターネット利用の割合

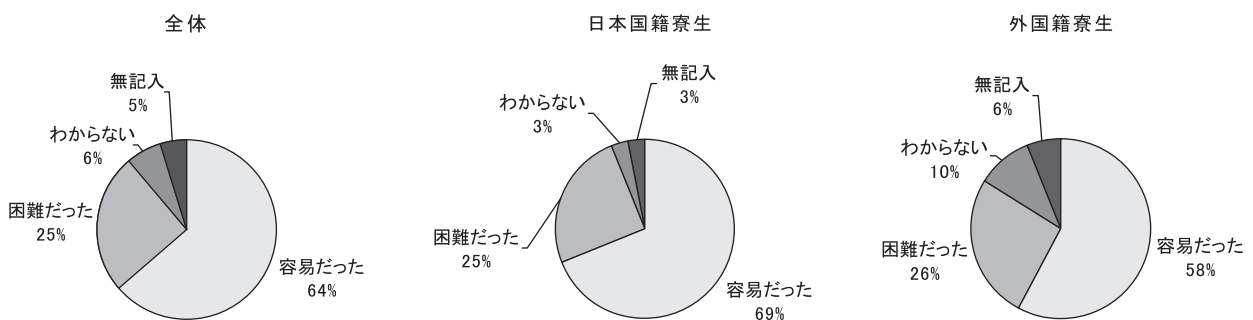


図12 インターネット契約の難易度



た。うち14名が「インターネットのサービス開始までに時間がかかった」ことを理由として挙げている。外国籍寮生の場合、学生によっては滞在が半年に満たない場合もあり契約をしても利用する期間は短い。また来日直後の外国籍寮生は、インターネット契約のために必要な書類の準備や条件を整えるまでに時間を要することから、すぐに契約を行うことが困難である。そのような外国籍寮生の状況を考慮すると、無線LANによる共有スペースでのインターネット利用が入寮後すぐに可能な環境になれば望ましいと思われる。図11が示すように、日本国籍寮生の回答のうち94%がインターネット契約をしていることから、大学側が全室対応型のインターネット契約を行う可能性を検討でき

ないかという気がする。コストを寮費に上乗せをしたとしても、学生が個人でプロバイダーに支払う料金よりも安くサービスが提供できるのではないだろうか。

#### D. 嚶鳴館の運営について

##### 問13) 嚶鳴館の運営を担当している下記の組織について、どの程度理解していますか？

図14では、寮生にとって身近な存在である寮事務室やBK（ブロック会議）以外、嚶鳴館を運営している組織が十分に理解されていないことが判る。さらに、役割が知られていないのは大学組織である学生総合支援課（日本国籍寮生担当）および国際課（外国籍寮生担

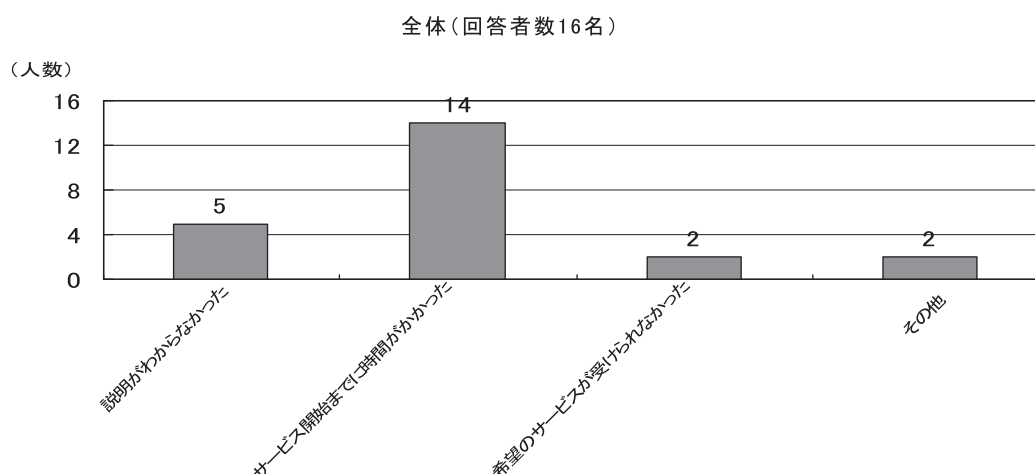


図13 インターネット契約が困難であった理由

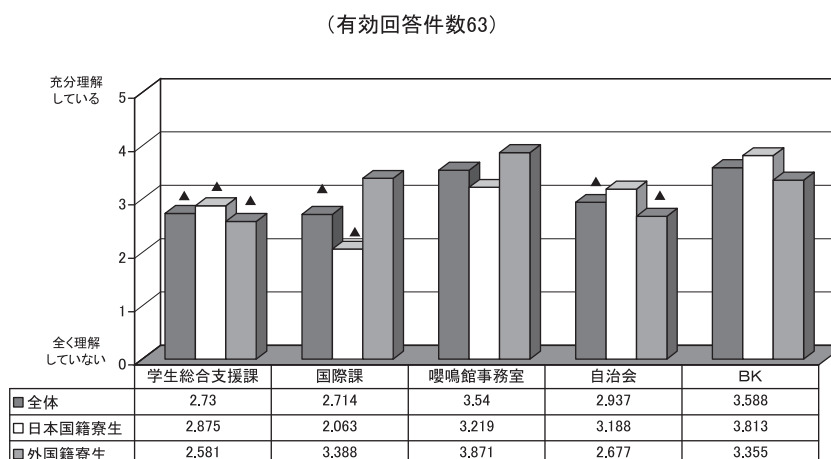


図14 寮の運営組織に対する理解

当)だけではなく、寮生自身が構成している自治会も含まれている。一般的に、大学と自治会の役割分担お

よび責任範囲が明確でないことも見て取れる。

問14) 嚶鳴館の事務室が提供するサービスに、どの程度満足していますか？

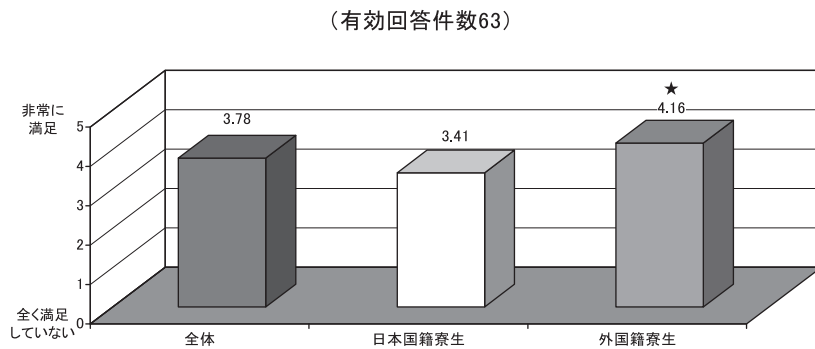


図15 事務室サービスに対する満足度

問14-a) 事務室の提供するサービスのうち、改善できる部分があれば指摘してください。(自由記述)

この質問に対する回答者数は全体回答者数(63名)の30%にとどまり、日本国籍寮生12名(回答者中の38%)、外国籍寮生7名(回答者中の23%)、計19名であった。

図15の結果にも見られるが、事務室が提供しているサービスへの満足度が高く(8件)、特に外国籍寮生からの声は肯定的であった(6件)。改善できる部分があるとしたら、次のカテゴリに分けられる：①事務室の開いている時間(4件)、②コミュニケーション・情報伝達の方法(3件)、③寮費の支払方法(1件)である。

事務室の開いている時間に関しては、「管理人のいる時間が短すぎる」「土日でもいてほしい」など、時間延長・サポート体制の充実を希望している意見が全てであり、寮生の不安も背景にあらう。

続いて、情報伝達について、2つの問題が挙げられた。まず、使用言語のことだが、オフィスからのアナウンスは主に日本語で行われ、日本語が得意ではない

寮生の情報取得に障害が出る。「Even if...international residents should be encouraged to use Japanese as a medium of communication, I sometimes find it difficult to understand all announcements or information given to me within Ohmeikan」という意見である。また、「朝早くから放送をかけるのはやめてほしい」という意見から、個人のプライバシーを侵す場合もあると思われる。

寮費の支払方法の問題としてでた「…引き落としにしてください」は、現在、毎月、窓口での現金支払いのみで行われているためであり、口座からの自動引き落とし、または、クレジットカードでの支払いを検討する必要がある。

最後に、「サービスの内容がわからない」との意見が4件もあり、アンケート文の表現が悪かったと反省している。しかし、一方、事務室の役割範囲がはっきりしていないこともあり「どのことが事務室でできるのか今一わかりにくい」という文章もあり、『名古屋大学国際嚶鳴館入居案内』に明記すべきである。

問15) 自治会や BK が提供するサービスに、あなたはどの程度満足していますか？

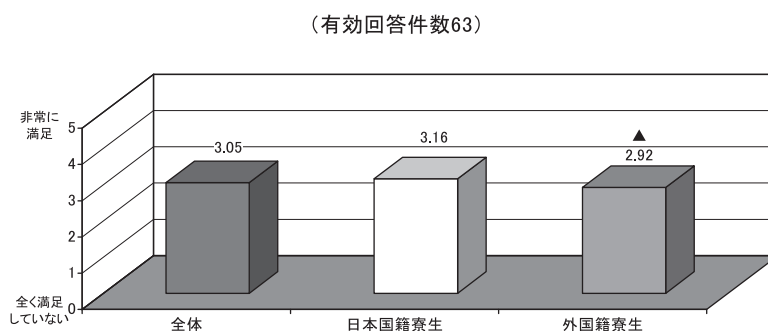


図16 自治会・BK サービスに対する満足度

問15-a) 自治会や BK が提供するサービスのうち、改善できる部分があれば指摘してください。(自由記述)

23名（全体回答者数の37%）がこの質問に回答し、日本国籍寮生が10名（回答者中の31%）、外国籍寮生が13名（回答者中の42%）であった。

回答内容は、①自治会・BK の役割・必要性について（18件）、②外国籍寮生の自治会・BK への参加（4件）、③言語問題（3件）、④寮生大会運営について（2件）、の4つに大別できる。改善に向けての提案よりも、問題指摘が多く寄せられており、特に、BK の運営の仕方に再検討の余地があると思われる。

ほぼ毎週、開催されている BK を意見交換の場として評価するコメントは2件あった。例えば「BK 廃止論はよく出てくるが、共用スペースの多い寮で週一のコミュニケーションがとれなくなるのは損失です」というものである。しかし反面、否定的なコメントも多く（16件）、「ムダが多い」、「BK は特に必要ない」、「BK をなくす」、「…every time they are saying the same thing」、「Actually, I do not know what the Residents Committee does…」などに代表されている。

外国籍寮生の自治会・BK への参加に関して、「留学生の BK への参加の徹底」（2件）が求められているものの、「…自治等に関する言葉は難しいものあり、…また留学生は長くとも寮に1年間しかいられないので自治を理解する頃には寮からいなくなってしまう」という理解の意見もある。実は、言語問題の存在が BK

の運営に大きく影響し、現在の BK が日本語 BK と英語 BK に分かれているのも事実である。しかし、「相互理解を深めること」を目標としている国際嚶鳴館にそういった分離が望ましいかどうかは疑問に思われる。「英語の BK は内容が少なく面白くない…ところで、日本語の BK は外国人が参加できないような気がします。」、「（日本人は）外国人にあまり意見を聞かないし、自分たちだけです。」といった感想がそれを証明している。

年に2回実施される寮生大会の運営に関しては、「…difficult to follow because of the bad sound quality. A beamer presentation, or a print-out of all the votes taken would have facilitated understanding and participation considerably」とあるように、少し工夫すれば改善できるであろう。

しかし、現行の自治会・BK のやり方、そして、存在そのものが疑われているのも事実である。「効率的でない。自治会や BK が本当に必要であれば、旧寮時代からの方式をやめ新寮にあった内容にすべく変えるべき。個人的には自治会規約（旧寮時に制作されたもの）は撤廃も有効と考えます。今の時代の大学寮なのでマンションなどのように本当に住む人が必要と思っていることを中心に話し合うべき。…手続きよりも寮生の声を聞くことに一生懸命な仕事を RC（自治会）にしてもらいたい。」といった厳しい意見である。スタートラインに戻り、共に新嚶鳴館の運営組織を考え直すべきとの提案であった。

問16) 重要な情報は通常 BK, 嚶鳴館の掲示板, あるいは館内放送を通して伝達されますが, どのくらい効果的に情報が伝達されていますか?

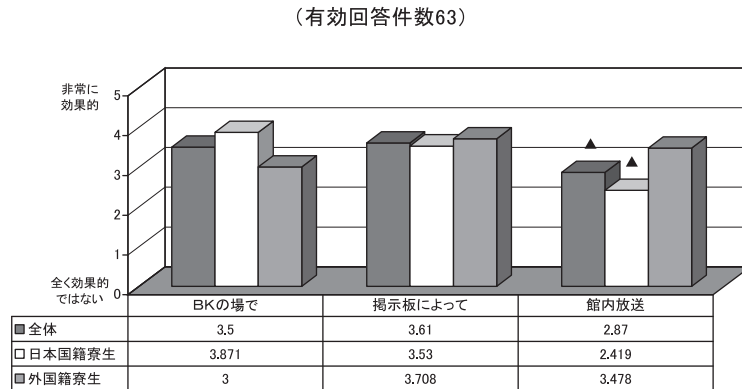


図17 情報伝達の有効性

問16-a) 情報伝達の方法について改善可能な点があれば指摘してください。(自由記述)

日本国籍寮生の13名(回答者中の41%), 外国籍寮生7名(回答者中の23%)の計20名(全体回答者数の32%)がこの質問に回答した。回答内容は, ①BK(3件), ②館内放送(12件), ③掲示板(10件), ④その他(2件)の4つに大別できる。

BKに関するコメントは既にQ15に取り上げられたせいか, 「BKの内容を掲示板に貼る」, 「BKをなくす」といったもので, 多くなかった。それに対し, 図11が示すように, 事務室が情報伝達に利用している館内放送は評判が悪い。放送のタイミング「朝早く起こされるのは大変不愉快」(4件), ノイズ「館内放送はうるさい。騒音である」(2件), 使用目的「職員同士の連絡に放送を使うのはよくない」(2件), 一言語使用「留学生に対して英語のアナウンスを用意したほうがいい」, 伝達効果「まだ寝ている人がいるような早朝

や学校に行っているような昼間に館内放送を使って情報を伝達されても全員には伝わらない」, 「部屋から館内放送聞こえません」(2件)など, 寄せられた指摘は多岐にわたっている。

掲示板の方が, 全員が見ることが出来るので, 方法として評価されているようだが, こちらも, 改善する余地がある。「…ごちゃごちゃしていて見づらい」(2件), 「BC棟の掲示板的の更新があまり頻繁ではない」(2件), 一言語使用, 「…a bilingual approach towards important information would be helpful」(3件)などである。そして, 最後に, その他として, 電子メールやメールボックスの利用が提案されていた。

言うまでもなく, 万一, 緊急事態が起こった場合, 敏速な情報伝達がいかに大事となってくる(1件)との寮生の生命についての指摘もあったことも付け加えておきたい。

問17) 嚶鳴館の円滑な管理、安全、保健衛生の目的とした多くの規則や取り決めが寮全体として、あるいはフロアごとに決められていますが、下記の規則に対して、あなたはどの程度満足していますか？

(有効回答件数63)

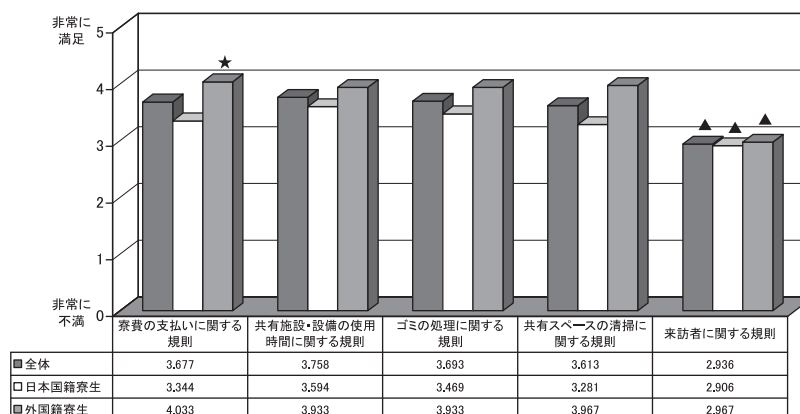


図18 寮の規則・取り決めに対する満足度

問17-a) これらの規則に改善点があるとすれば何か、指摘してください。(自由記述)

この質問に対する回答者数は全体回答者数（63名）の40％であり、日本国籍寮生16名（回答者中の50％）、外国籍寮生9名（回答者中の29％）、計25名であった。嚶鳴館の諸規程及び「心得」に対する満足度を見る質問となっているが、主な回答内容は、①寄宿寮納入・支払い方法について（7件）、②共有スペースの使用について（11件）、③来訪者について（13件）、の3つに分けることができる。

図18でわかるとおり、国籍を問わず、来訪者に関するルールを肯定的に見ている寮生が少ない一方、項目別に他の結果を見ると、日本国籍寮生と外国籍寮生の間に規則に対する評価のずれが明らかである。該当規則やルールを紹介しながら、寮生の意見を取り上げたい。

まず、寮費の納入・支払方法に関する取決めは、「入居者は、別に定める寄宿料を所定の期日までに納入しなければなりません」（名古屋大学国際嚶鳴館規程（以下「規程」）第13条）と「寄宿料は…直接大学へ納入することとなります」である。これについて、寮生の提案がルール厳守の強化「寮費滞納者に対する罰則を更に厳格化すべき」（3件）と、支払方法の変更要求「寮費、引き落としに。いいかげん煩わしい」、「そうすると未払いも減る」（4件）の2つに分けられた。

次に、共有スペースの使用について、「入居者は、国際嚶鳴館の施設、設備及び備品の保全並びに快適な環境の保持に努めること…」（「規程」第15条）、更に具体的に①「キッチン、リビング、洗濯室、交流テラス、多目的ホール、談話室、トイレの掃除について、入居者で行ってください」、②「国際嚶鳴館で振動や騒音を発生させたり、…は慎んでください」などが明記されている。これについても、特に掃除について、日本国籍寮生からのルール厳守の徹底が強く要求されている。「フロアごとに共有スペースの清潔さが違うので規則等を寮生全員に再確認すべき」、「留学生の使用の仕方が汚すぎる」等（6件）。また、「…regulations concerning the common room and its usage in respect to noise pollution are far from actually being kept」といった騒音問題に関する指摘（4件）が国籍と関係なく寄せられた

一方、来訪者に関する規則「入居者以外の者を宿泊させないこと」（「規程」第15条第1項）、「入居者が来訪者と面会する場合は、ロビーを使用してください」については、回答者全員の声が一致している。「来訪者に自分の部屋を見せることが出来ないのはちょっと不満に思います」、「It would really be appreciated if we could invite friends from outside Ohmeikan. The possibility to let relatives/friends stay overnight for a short period would be even better」、「母や身内まで1F

で締め出すのはおかしい。セキュリティとか何とか言  
うが…あまり意味がない」(13件)など、規則緩和を求  
めている意見が全てであった。

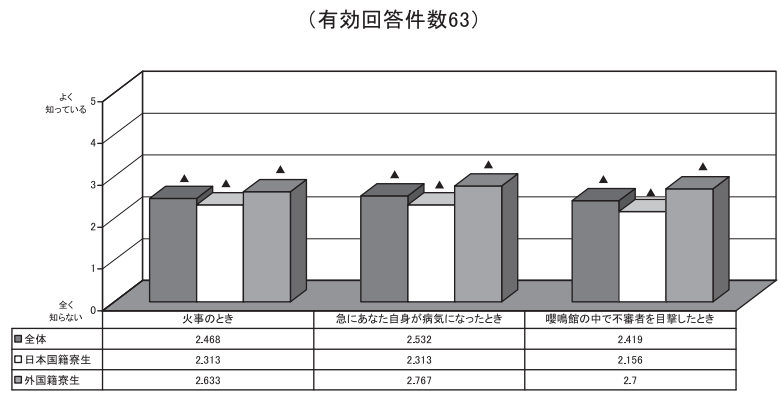


図19 緊急時における対応方法の知識

問18) 図書館での緊急時における対応方法や設備に関  
して、あなたはどのくらい知っていますか？ 以下  
のような状況に直面したとき、どのように対処すべ  
きか、または誰に連絡すべきか知っていますか？

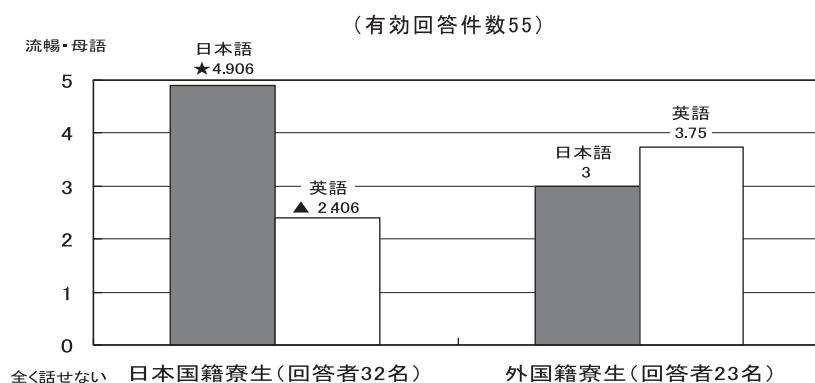
図19の結果の深刻さは自明である。週末や深夜の時  
間帯に事務室に人がいない。『名古屋大学国際図書館  
入居案内』における情報 (pp.15-18) が分かりづら  
く・物足りない。さらに、日本語が話せなかったら…  
など、様々なファクターが上記の数値の背景にあらう  
が、命にかかる問題なので、対応方法の周知徹底を直  
ちに行うべきである。万一の場合、名古屋大学が責め  
を負うことを忘れてはならない。

E. 図書館での人間関係について

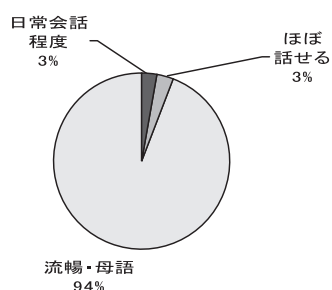
問19) あなたの日本語又は英語能力はどのくらいで  
すか？

この質問に対して全体で55名が回答し、その内訳は  
日本国籍寮生32名、外国籍寮生23名であった。図20が  
示すように、日本国籍寮生の回答者のうち約6割が  
「英語を全く話せない」、あるいは「ほとんど話せない」  
を選択している。しかし、同時に4割の回答者が「ほ  
ぼ話せる」あるいは「日常会話程度」は話せると自己  
評価している。他方で、外国籍寮生の日本語能力をみ  
ると、「日本語がほぼ話せる」、あるいは「日常会話程  
度」は半数以上を占めた。このデータから、外国籍寮  
生と日本国籍寮生の間でまったくコミュニケーション  
が取れないという状況ではないことが判明した。両者  
の言語能力レベルを見ると、意志さえあれば、意思疎  
通は十分可能な状態であると理解してよいだろう。

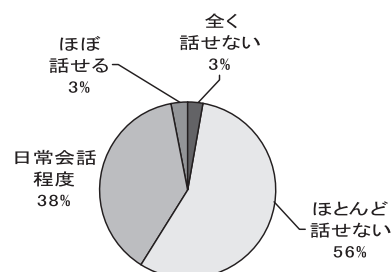




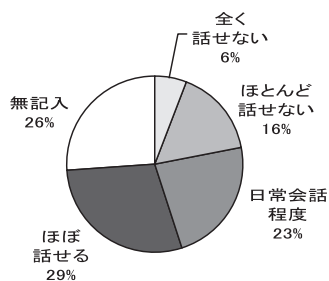
日本語(日本国籍寮生)



英語(日本国籍寮生)



日本語(外国籍寮生)



英語(外国籍寮生)

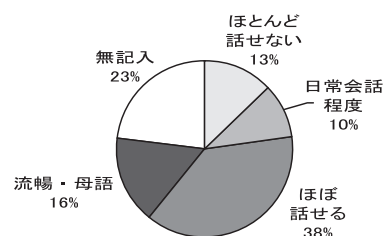
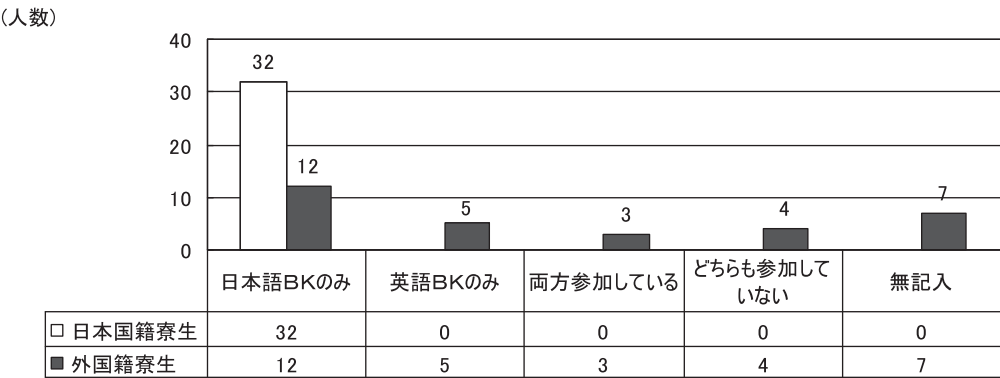


図20 日本語・英語能力

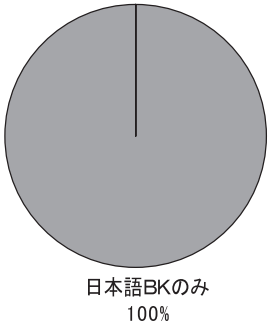
#### 問20) あなたはどのBKに参加していますか？

日本国籍寮生は各フロアで定期的に行われる日本語BK（ブロック会議）への出席が寮の規則で義務付けられている。一方で、外国籍寮生は自分のフロアの日本語BKあるいは英語で行われるBKのどちらかに参加することが求められてはいるものの、実際には厳しく要求されていない。その実態が、図21からもうかがえ

る。日本国籍寮生は回答者全員（100%）が「日本語BKに参加している」と答えている。他方、外国籍寮生から得られた31件の回答をみると、日本語BKと英語BKの「どちらにも参加していない」、あるいは無記入の回答が11件で外国籍寮生の回答全体の46%を占めている。



日本国籍寮生のBK参加状況



外国籍寮生のBK参加状況

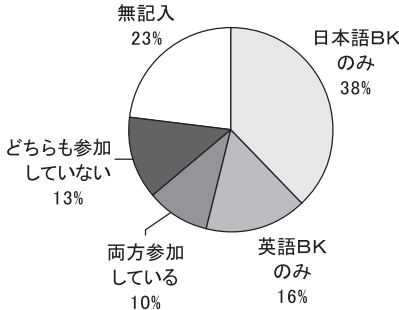


図21 BK 参加状況

問20-a) 前項で4〈BK どちらも参加していない〉を選択した方は、参加しない理由を記入して下さい。  
(自由記述)

この質問に対する回答は全体で3件あり、すべて外国籍男子寮生から提示された。BK参加が義務付けられている日本国籍寮生からの回答はなかった。外国籍学生は参加しない理由として「時間がない」(2名)、「特に質問がないので出席するのをやめた」(1名)の2点が挙げられており、入居オリエンテーションの際にBKへの参加が規則として存在することを説明しているにもかかわらず、出席が徹底されていないことが判明した。

問21) 嚶鳴館の中で、他の寮生とどの程度交流していますか？

全体で63件の回答が得られた。0から5のスケールで程度を表す回答であるが、図22が示すとおり、「挨拶をする」(3.8)、「一般的なことについて話す」(4.63)は数値が非常に高いのに対し、「一緒に旅行をする」(2.16)では比較的低い数値となっている。しかし、「寮の共有スペースで一緒に過ごす」や、「パーティや行事と一緒に参加する」といった交流も3.5以上を示していることから、寮内での交流は全般的に活発であると理解してよいのではないだろうか。

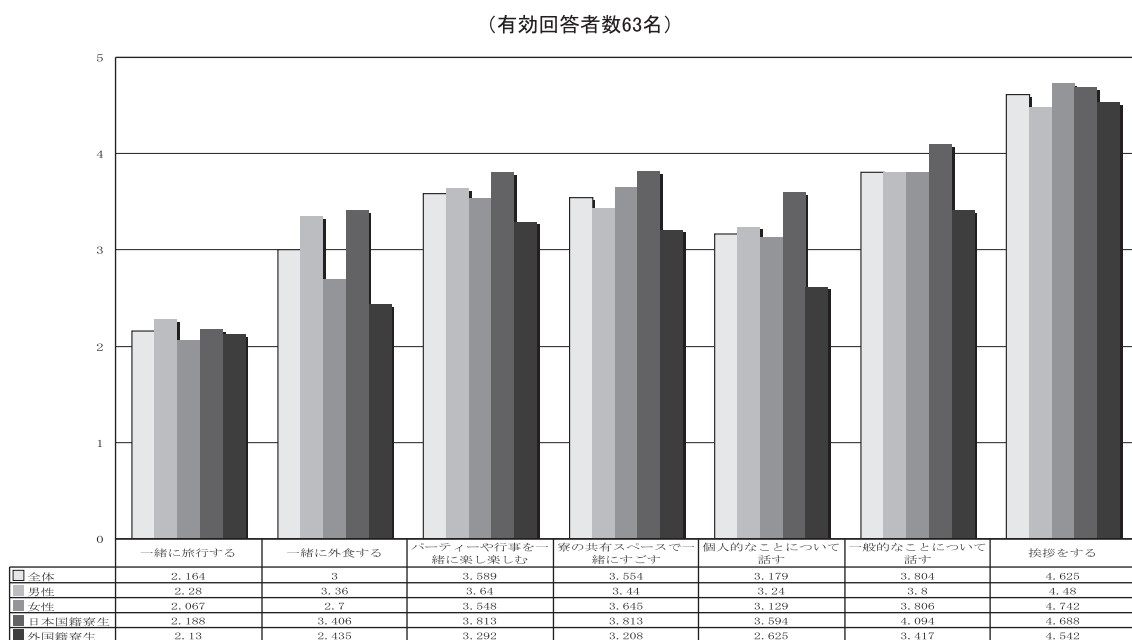


図22 交流の程度

問22) どのような寮生と交流していますか？

図23をみると、日常的に交流する相手として日本国籍寮生は「同じ国の出身者」、「日本語が話せる寮生」と非常に活発に交流している様子が理解できる一方で、「英語が話せる寮生」とはあまり交流していない傾向が

確認できる。また外国籍寮生は、「日本語が話せる寮生」との交流を示す数値が3以上を示しており、日本国籍寮生と比較すると、より積極的に異文化交流の機会を得ようとしていると解釈することができる。

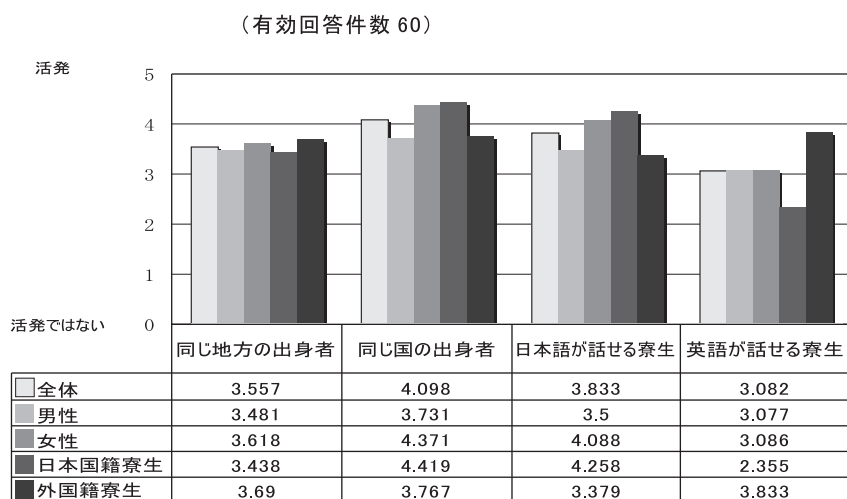


図23 交流の相手

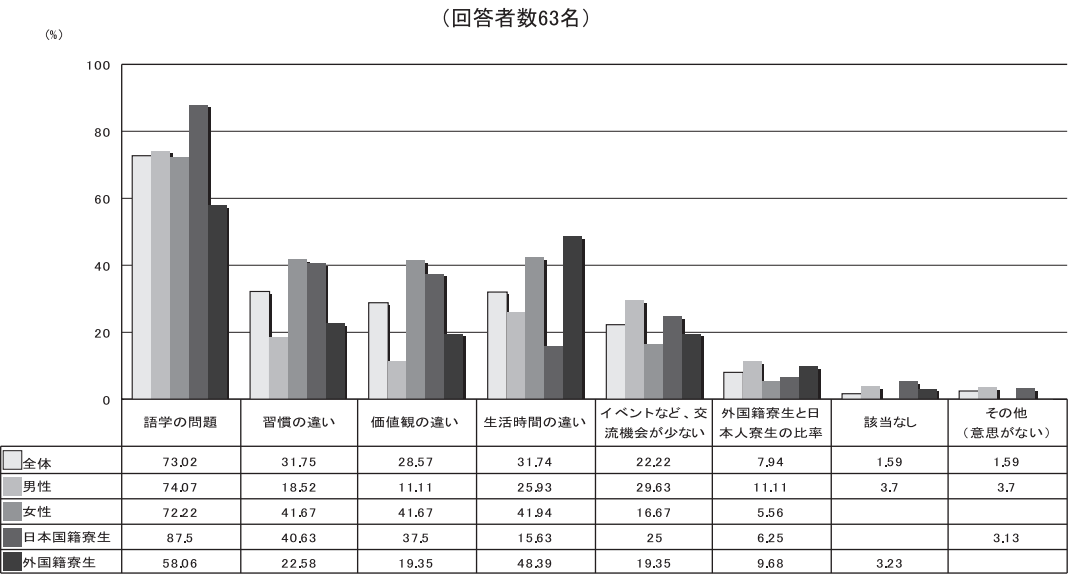


図24 他の国籍の学生との交流が難しいと感じる理由

問23) 他の国籍の寮生との交流が難しいと感じている場合、その主な理由は何ですか (複数回答可)

図24が示す突出した特徴は、日本国籍寮生と外国籍寮生ともに「語学の問題」を交流を困難にしている第一の理由としてあげている点である。しかしこの傾向は、日本国籍寮生に特に強く表れており、日本国籍寮生の回答の87.5%を占めている。また非常に興味深い点として、外国籍寮生は「生活時間の違い」が他の国籍の寮生（日本国籍寮生）との交流を難しくしていると捉えているのに対し、日本人国籍寮生は生活時間をほとんど問題として捉えていないことである。また、異文化交流において障害となりうる「習慣の違い」や

「価値観の違い」についても外国籍寮生は日本国籍寮生と比較すると、障害であるという認識をそれほど強く持っていないことがわかる。

問24) あなたは国際交流に興味がありますか？

前項の質問で得られた数値によって、多くの寮生が異文化間交流を難しいと感じていることが理解できたが、国際交流そのものには日本国籍寮生（3.563）も外国籍寮生（4.45）も共に興味があることが図25によって示されている。外国籍寮生は国際交流へのより強い興味を示しており、留学をする一つの目的である日本人との交流への意欲と期待が示されていると考えてよい。

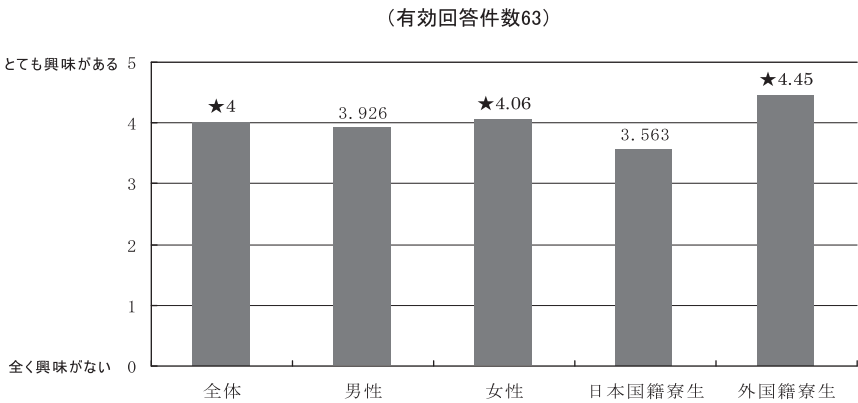


図25 国際交流への興味

**問25) 様々な国籍の寮生との混住について、どう思いますか。(自由記述)**

この質問に対しては全体で52件の反応が得られた。内訳は日本国籍寮生27名、外国籍寮生25名と約半数ずつで、男女比も男子寮生24名、女子寮生28と大きな開きはなかった。日本国籍寮生と外国籍寮生のほとんどの回答が混住寮に住むことについて「非常に良い」あるいは「良い機会」であると述べている。しかし、貴重な体験ができる環境であると認識しつつも、混住寮の良さが「活かされていない」、あるいは「問題がある」、「大変」と指摘している回答が多く存在する。これらは日本国籍学生からの回答に集中して現れている。外国籍寮生（男性12名、女性13名）は、自分の日本語不足が意思疎通を難しくしているが、コミュニケーションの問題は「互いの努力によって解決できる」、または「日本語の勉強がもっと必要であると実感する」というポジティブな態度が見受けられる。但し一部の外国籍寮生の中には、苦い経験からか日本人寮生に「包容力をもって交流して欲しい」という希望や、「冷淡な人に挨拶をしても返事がなかった時、大変困った」という経験を述べる回答があった。一方、日本国籍寮生からの回答（男性12名、女性15名）は、先にも指摘したように回答のほとんどが混住寮そのものは良い機会だと理解しているものの、自分はいまうまく利用できていないと卒直に述べるものが多い。さらに、上記の外国籍寮生のコメントとは対照的に、「文化・習慣・価値観の違い」がキーワードとして頻繁に使用されている

が、「勉強になる」と捉える日本国籍寮生が3名、反対に「問題が生じる原因」とする日本国籍寮生が7名あった。さらには、問題が生じる原因を外国籍寮生側に求めているものが多く見受けられ、特に「寮の規則を守ってくれない」という意見が4件あった。日常的に蓄積される不満がアンケート用紙の上に吐き出されているように思われる。個々の回答をみると、寮の規則を正しく、わかりやすく説明し、互いの協力を確認する場であるBKがどの程度機能しているのかが気になる。非常に辛辣な意見は日本国籍の男子寮生よりも女子寮生の回答の中に多くあることが興味深い。これは外国籍男子寮生が男子寮生全体の約14%であるのに対し、外国籍女子寮生の割合は女子寮生全体の約38%を占めていることから、女子寮生の方が好むと好まざるとに関わらず日常的に異文化接触を行っていることが背景にあると考えられる。

**問26) あなたが日本人寮生の場合、外国籍学生との関係について、どの程度あてはまりますか？ またあなたが外国籍寮生の場合、日本人寮生との関係についてどの程度あてはまりますか？**

この質問に対する合計63件の回答から、外国籍寮生と日本国籍寮生が互いにどのような印象を与えているか、あるいはどのような印象を得ているかについて分析することができる。図26をみると、「私の国を知ることに興味を持っているか」という問いについては、日本国籍寮生は外国籍寮生が日本について興味をもって

(有効回答件数63)

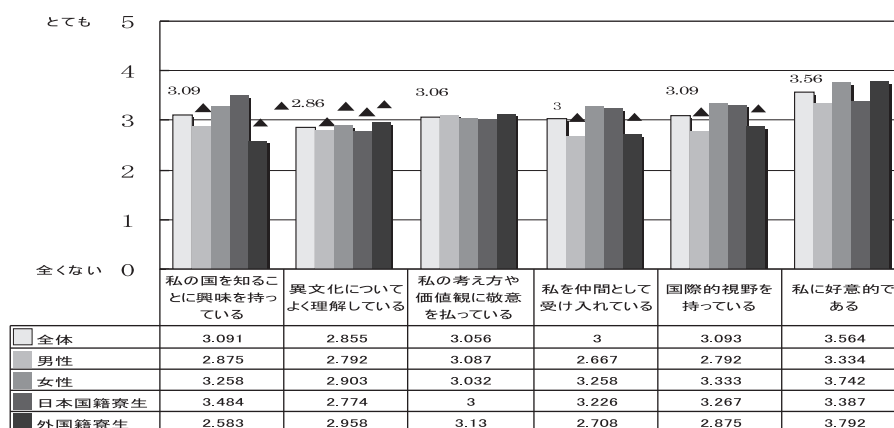


図26 外国籍寮生又は日本国籍寮生に対する印象

いると感じているのに対し、外国籍寮生は日本国籍寮生が自分の出身国についてあまり興味を持っていないと感じていることが、非常に低い数値（2.58）によって示されている。両者のギャップは非常に大きい。外国籍寮生は一般的に日本の社会や文化に強い関心を持って留学しており、「日本に対して興味をもっている」と日本国籍寮生が感じるのは当然であると言えるが、一方で日本国籍寮生がたまたま同じフロアに住むことになった外国籍寮生の出身国について強い関心を持つとは限らない。このような違いが両者の差を説明できると思われる。次に、「異文化についてよく理解しているか」という問いへの回答は、外国籍寮生も日本国籍寮生もともに3（普通）より低い数値を示している。お互いに、相手が異文化について十分に理解をしていないという印象を持っていると思われる。また「私を仲間として受け入れているか」という質問に対しては、外国籍寮生の数値が3を下回り、「受け入れられていない」と感じている可能性を示している。また同様に「国際的視野を持っている」という項目に対し、日本国籍寮生は外国籍寮生に対し3以上の評価をしている一方で、外国籍寮生は日本国籍寮生を3以下と評価している。しかしながら、自分自身に対する態度については日本国籍・外国籍の双方の寮生が「好意的で

ある」として感じている点が興味深い。総合的に判断すると、外国籍寮生は個人としては日本国籍寮生から好意的に接してもらえていると感じているものの、仲間としては受け入れられていないと認識していることがいえる。つまり、表面的には受け入れられているものの、親しい友人関係を築くには未だハードルが高く越えられないと感じている可能性があることを示唆している。

#### 問27) 今までにフロアの中で何か問題が発生したことはありますか？

図27が示すとおり、「問題が発生したことがある」と答えたのは全体の25%であったが、男女間、および外国籍と日本国籍寮生の間に数値のギャップが存在することが判明した。まず、男子寮生の回答のうち15%が「ある」と答えたのに対し、女子寮生は33%が「ある」と答えている。また日本国籍寮生の41%と非常に大きい割合を占めている一方で、外国籍寮生は10%と比較的小さい割合であった。このような差が生じる原因の一つとして、外国籍寮生は半年から1年という短期間の滞在であるが、日本国籍寮生は長期の居住が一般的であることが考えられる。

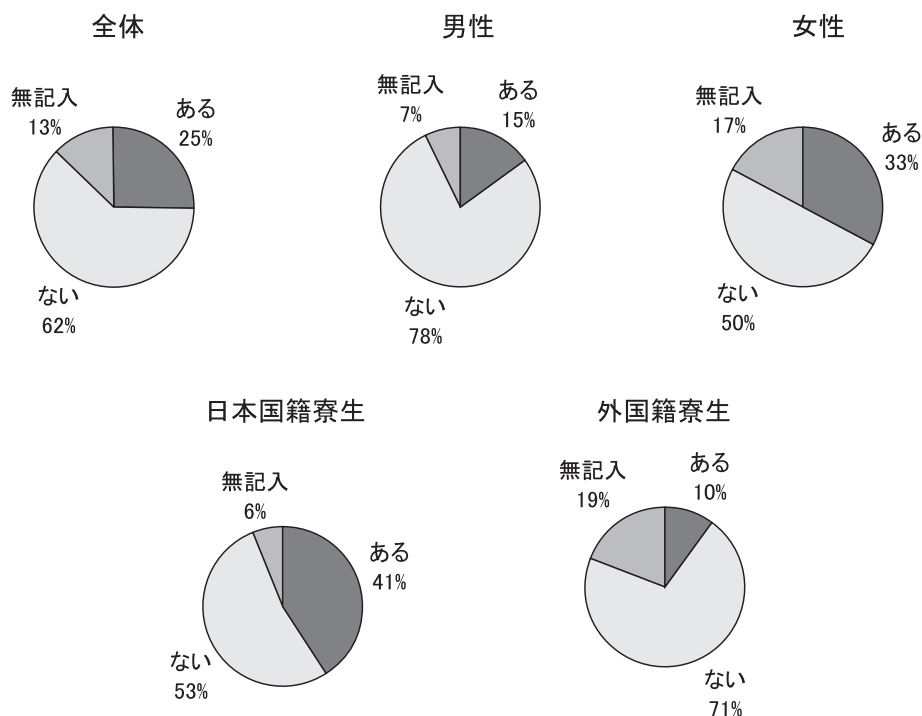


図27 自分のフロアで問題が発生したことがあるか否か



**問27-a) 前項で3〈フロアで問題がある〉を選択した方は、それはどのような問題ですか？(自由記述)**

この問いに対して、合計15件（日本国籍12件、外国籍3件）の回答が得られた。男女比をみると、男子寮生3件に対し、女子寮生12件と女子寮生からの回答の割合が非常に大きいことが指摘できる。発生した問題の内容は男子寮生と女子寮生の間で異なる。男子寮生からは3件の回答があったが、それらすべてが騒音や深夜の「飲み会」をめぐる問題であった。女子寮生からは、日本国籍寮生の回答が大部分を占めたが（12件中10件）、共有スペースの使用に関する問題が指摘されており、すでに上で述べたように「キッチンの使用」について大きな不満を抱いていることがわかる。他に、共同で使用している冷蔵庫内の食料品の盗難についてや、ゴミ分別の方法、共有スペースの掃除への不参加などがあげられている。この項目でも同様であるが、日本国籍寮生の意見には「留学生が…」という表現が

多く、問題を「引き起こしているのは」自分達日本人寮生ではなく留学生であるという強い印象を持っていることが理解できる。

**問28) あなたのフロアで問題が生じた場合、どのように対処されますか？(複数回答可)**

図28が示すように、解決方法として日本国籍寮生は「BKで話し合う」という方法を半数以上が選択しており、BKが寮内で発生する問題の解決手段として適当な場であるという認識が浸透していることがうかがえる。しかし、外国籍寮生は、日本語能力が不十分なため自分のフロアで開催される日本語BKへの出席ができず、フロア内で生じている問題を隣人の日本人寮生とともに議論する機会が得られていない。その結果図28が示すように、外国籍寮生の間ではBKが問題解決の手段であるという理解にいたっていない。

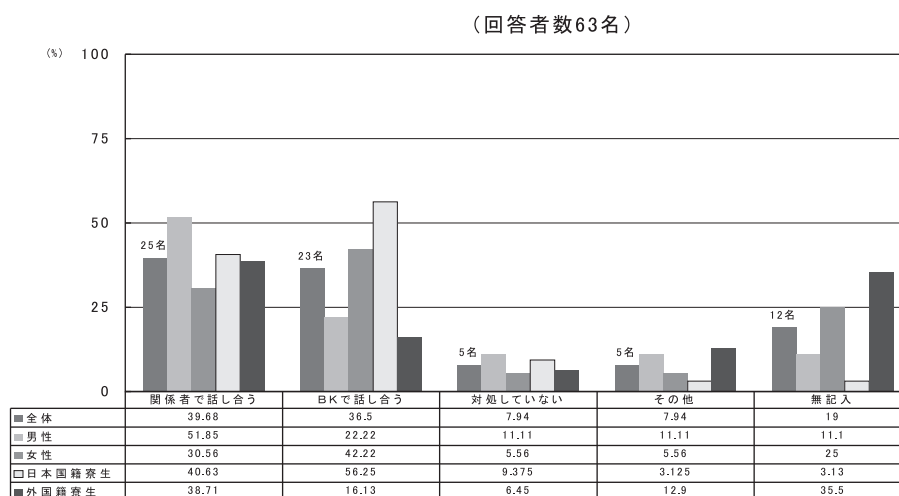


図28 問題の対処方法

**問28-a) 前項で3〈フロアで問題があっても対処していない〉を選択した方は、その原因は何だと思えますか。(自由記述)**

「フロアで問題があっても対処していない」と答えた5名から記述式回答が得られている。内訳は日本国籍3名、外国籍2名で男女比は男子3、女子2となって

いる。全体の回答5名のうち、1名を除いて全員がコミュニケーションをめぐる問題を理由にしている。具体的には、「話を通じない」（1名）、「誰も直接ははっきりと言えない」（2名）、「言語の問題」（1名）、「わからない」（1名）という内容であった。

(有効回答件数63)

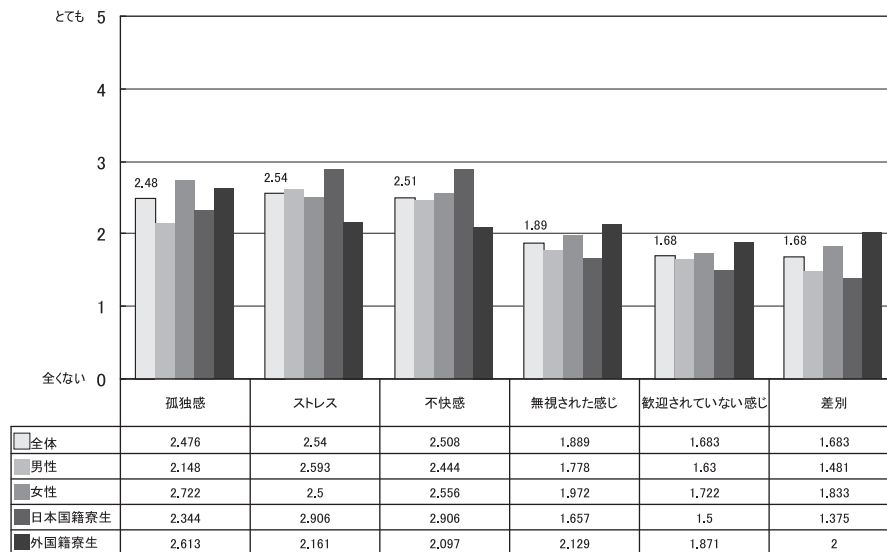


図29 感じたこと (精神的状況)

#### 問29) 嚶鳴館に入居して以来、次の感情をどの程度感じたことがありますか？

図29を見るとおり、すべての項目において3以下の数値が示されていることから、寮生は極度の孤独感、ストレス、不快感などを感じていないことが判明した。しかし、外国籍寮生と日本国籍寮生の数値を比較すると、日本国籍寮生の「ストレス」や「不快感」を感じるという数値が外国籍寮生よりも高く示されていることが指摘できる。

#### 問29-a) 前項で4又は5〈とても〉を選択した方は、その原因は何だと思いますか？ (自由記述)

前項では平均して3以下の数値が示され、極度の孤独感、ストレス、不安感などを感じていないことが判明したが、「とても感じる」と表明した回答者(19名)がその感情の原因を述べている。回答の内訳をみると、日本国籍寮生11件、外国籍寮生8件、男子寮生5件、女子寮生14件となっている。このように、女子寮生からの意見が男子寮生と比較すると多いことがわかる。記述回答の内容を日本国籍と外国籍寮生に分けて分析してみると、次のような特徴を述べるができる。まず、日本国籍寮生は男性、女性にかかわらず、自治会活動(BKの出席も含む)や寮内のイベントや「飲み会」に参加しなければいけないという強迫観念を抱いており、それがストレスに繋がっていることが理解

できる。例えば、「自治や寮のイベント等に参加できないと、寮生の間でかなり居心地が悪くなるので精神的苦痛は大きい」(女子)や「BKのために毎週水曜10時がつぶれることでどれだけストレスを感じるかよく考えて欲しい」(男子)という意見など自発的に行事に参加するのではなく「参加させられる」(女子)という意識が存在していることを反映している。また日本国籍女性寮生の回答の中では「キッチンの利用方法が悪い」ことによって生じるストレス(3件)が目立った。

外国籍寮生からの回答は男子寮生の回答は2件と少なかったが、そのうち1件は「the floor mates often held Nomikais and made a very disturbing noise during the sleeping hours」と述べ、日本国籍寮生が頻繁にフロアの共有スペースであるリビングで深夜まで「飲み会」を行ない、その騒音に悩まされているという状況が報告されている。一方、外国籍女子寮生からは6件の回答が得られたが、「あまり日本人の学生と交流できない」という不満や、「Foreign students' all put together under one category by the Japanese students on my floor」という印象、さらには「Japanese seldom talk to me despite I really want to communicate with the. I often feel be ignored and discriminated.」など無視や差別を受けているような感触をもつ寮生の存在が判明した。このように、外国籍女子寮生は、日本人寮生とのコミュニケーションを

めぐる不満やストレス、不快感を持っており、交流の

「限界」を感じている可能性がおおいにある。

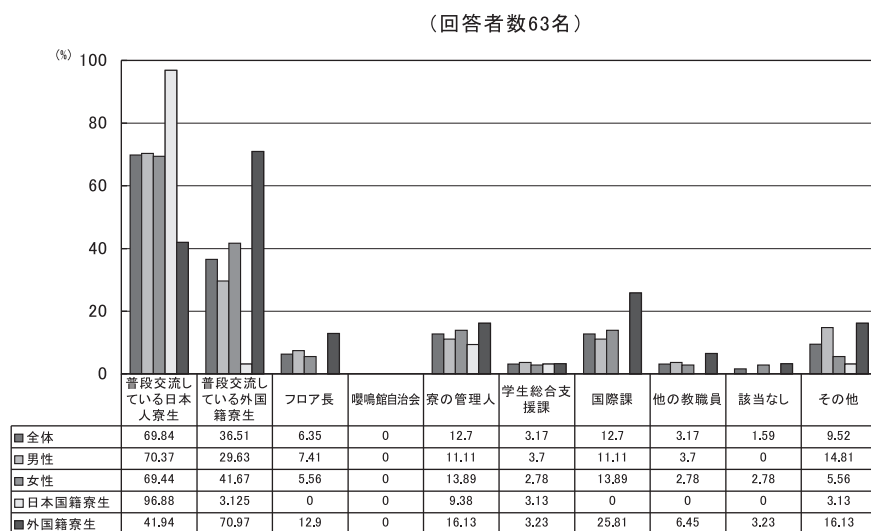


図30 個人的な問題の相談相手

### 問30) 寮内で個人的な問題が発生した場合、あなたは誰に相談しますか？（複数回答可）

この問いかけに対し、全体で63件の回答が得られた。図30が示す特徴は、日本国籍寮生のほとんどが相談相手を「普段交流している日本人寮生」と答えたが、「自治会」、「フロア長」などに相談すると答えた人は皆無であったことである。一方、外国籍寮生からの回答では「普段交流している外国籍寮生」という答えが60%と最も多く、外国籍寮生同士で問題解決を図っていることが理解できる。同時に「普段交流している日本人寮生」（40%）が相対的に多く、また「フロア長」、「寮の管理人」、「国際課」を選んだ寮生もいるように、相談相手として複数のチャンネルを持っていることが判明した。

### 問31) 嚶鳴館での人間関係について、意見があれば書いてください。（自由記述）

この項目では合計18名からの記述式回答が得られた。その内訳は男子8名、女子10名、日本国籍9名、外国籍9名であった。前項まで、質問に対する返答はネガティブなものや辛らつな他者批判が多くみられたが、この質問項目ではむしろポジティブな解釈が多い。これは、ここでの問いかけが「嚶鳴館の人間関係についての意見」と漠然としていたことに起因するの

かもしれない。ポジティブな解釈は、男子寮生に多くみられ、「人との交流の機会が増えれば人間関係も良くなっていくと思う」や「Where there is a will, there is a way. Personal interests drive most interaction here」など率先してコミュニケーションをとる意志がみられる。一方、女子寮生からの回答は相変わらず、問題の指摘が多いものの、単なる他者批判に終わらず「何が問題か」をこの質問によりあらためて考えた形跡がある。そしてその答えとして「コミュニケーション」が問題の根源として認識されている。日本国籍女子寮生からは「コミュニケーションをとる気がない人間は入寮させないでほしい。普通のマンションと違うので支障をきたす」や「余裕のない人が多く、共同生活している仲間に対して優しくないな、思いやりがないなと思う状況もしばしばある」と述べている。一方、外国籍女子寮生の意見の中には、「私の挨拶に答えてくれないとき何度も不快に感じたが、今ではあいさつに対して無視されることは（私にとって）どうでも良くなった。私が他の人と良い関係を保つためにいかに努力をしているかということが重要だから。私の考え方は変わった。」というようなコメントもあり、人間関係を円滑に行うために最低限必要なコミュニケーションを取ることすら拒絶している寮生の存在を映し出している。

## F. 最後に

### 問32) 嚶鳴館の生活あるいは住環境について好きな点や気になる点など、他に意見があれば自由に書いてください。(自由記述)

最後の項目では、寮生に意見を自由に記述してもらうスペースを設けた。これに対する反応は全体で29件得られた。その内訳は日本国籍寮生19件、外国籍寮生10件、男女比は男子14件、女子15件とほぼ半々であった。第一の特徴は、寮生活の良さを具体的に述べているものが全体で16件と非常に多い点である。これは問いかけの中に「好きな点」と入れたことが影響であると考えられる。「良さ」として挙げられている内容は様々で、「学校が近い」(日本国籍男子)や「部屋の環境がよい。キッチンも洗濯場もとても使いやすい。」(日本国籍男子)、また「The dormitory is nice; well-furnished, safe…」(外国籍女子)や「it is quite new, clean and convenient.」(外国籍女子)など住環境の物理的側面に満足をしている意見が7件と多い。また、以前の項目で日本国籍女子寮生からストレスや不満について率直な意見が多く出されていたが、この項目では寮生活のメンタルな部分での良さを述べているものが予想外に多い。具体的には、「いろんな出身のいろんな年齢の人が一緒に暮らすのはとても楽しいし、ためになることもたくさんある…」や「いつも人の気配がするので安心感がある」、さらに「行事も多いし、充実している」などの意見があった。一方、外国籍寮生のメンタルな側面で寮の住環境が「良い」と返答したものはわずか1件のみで「the staff at the office are quite nice」という管理担当者の対応がよいことを述べるものだった。また「日本人と外国人がもっと親睦になったらいいなあと思う」という希望が述べられている。最後に、環境の改善にむけての意見として、「BKをなくして欲しい」(日本国籍男子)や「BKがおもしろくない」(外国籍女子)といったBKの必要性や内容の再検討を願う声や、インターネット・サービスの提供、また先でも指摘された共有スペースの利用改善などについて意見が述べられている。

## Ⅲ おわりに

本アンケート調査は①寮に関する情報の入手、②寮の施設や設備、③寮の運営、④人間関係の4つを柱と


して質問項目の作成と分析を行った。回答者の割合が寮生全体(281名)の22.4%であったことは非常に残念であるものの、データの示す数値や回答者からの率直な意見は示唆に富んでいた。限られたサンプル数ではあるが、データが包含する意味を検討すると同時に、嚶鳴館に暮らす寮生がより充実した生活を送るために改善あるいは解決すべき問題の有無、およびその対策の可能性を探りながら分析を行った。以下に本調査によって明らかになった重要点を指摘し、改善へ向けての提言をしたい。

まず寮の施設・設備について、キッチン・ゴミ置き場・駐輪場などの共有スペースの利用に対する不満が存在しており、その不満は特に日本国籍女子寮生の「留学生」に対する辛らつな批判の形で現れている。特にキッチンの利用について、「留学生」の利用の仕方が悪い原因は「文化や習慣の違い」や「寮の規則を守らない」と安易に結論付けてしまっている傾向が強くみられた。「文化や習慣の違い」と短絡的に決めてしまう前に、円滑で充実したコミュニケーションを図り意見を交換できるような環境作りが必要である。そのためにも自治会やBKが日本人寮生だけの問題解決システムにならないよう、いかに外国籍寮生を取り込んでいくか、又は巻き込んでいくかを考える時期にきていることを実感した。BKのありかたについては「寮の運営」のセクションにおいても、問題が多く指摘されており、意見交換の場として評価する意見よりもむしろ否定的なものが多数を占めていた。自治会の役割を含め、BKの運営について検討する必要があると思われる。

混住寮での共同生活をより充実したものにするために必要不可欠なコミュニケーションと交流について述べたい。すでにみたように、外国籍・日本国籍にかかわらず回答者のほとんどが混住寮を「貴重な経験を得られる場」として認識しているにもかかわらず、実際は寮生の多くがそのメリットを十分に活用できていないと述べている。この問題は外国籍寮生・日本国籍寮生に関わらず、すべての寮生に対して異文化間接触や異文化間交流のための十分なサポートが提供されてこなかったことに問題があったのではないだろうか。この問題を解決するための第一歩として、すべての寮生に対する異文化理解講座の提供や、興味のある学生に対しては寮内で外国籍寮生と日本国籍寮生の架け橋となれるような存在へと成長してもらうためのトレーニ

ングの機会を提供するなどの地道な活動が必要であろ  
う。また同時に、自治会内に設置されている「留学生

担当係」の役割の明確化、日本語 BK に外国籍寮生が参  
加できるようなサポート体制を築くことが望まれる。



# 国際嚶鳴館

## 寮生活向上のための アンケート調査に ご協力ください！

**実施期間**  
**2007年11月28日(水)～12月14日(金)**

**提出方法**  
1) BKの際にブロック長へ  
2) 嚶鳴館1階事務室前の回収箱へ  
3) 留学生センターNUPACEのオフィス回収箱へ

**名古屋大学学生寮調査WG**  
問い合わせ 留学生センター 石川クラウディア k46189a@cc.nagoya-u.ac.jp  
留学生センター 山田直子 yamada@ecis.nagoya-u.ac.jp  
国際嚶鳴館自治会 織田雅史 (A508) 河野雄紀 (A327) 宮城愛 (A825)



## 添付資料 1

名古屋大学学生寮アンケート調査  
国際喫鳴館

## 1. アンケート調査の目的

寮生活は学生生活の重要な部分であり、また学生生活を豊かにするものです。多国籍・多地域出身の寮生がともに生活する国際喫鳴館（以後、喫鳴館）は、文化的に多様な環境の中で生活する機会を提供しています。名古屋大学学生ハウジング調査WGは喫鳴館の生活環境、および学びの環境をさらに充実させるため、また5年目を迎えた喫鳴館のあゆみを振り返るためにアンケート調査を行います。皆様どうぞご協力よろしくお願いいたします。

質問紙のねらい：

- 1) 寮生の生活環境に対する満足度を計る。
- 2) 寮生の生活環境や福利の向上のための参考資料とする。
- 3) 喫鳴館での生活に関する適切な情報と助言を（将来の）外国籍寮生に提供するための参考資料とする。

回答者の匿名性を守るために回答済み用紙は厳重に管理されます。またどのような状況においても、他の目的には利用されません。さらに、このアンケート調査は統計学的に処理され、回答によって個人を特定することは不可能なため、皆さんのプライバシーが侵害されることはありません。

このアンケート結果の概要は2008年1月31日までに喫鳴館の皆さんへお知らせいたします。また、詳細な分析結果については2008年4月30日までにご報告いたします。

アンケート調査には非ご協力くださいますようお願い申し上げます！

## 名古屋大学学生ハウジングWG

- ・石川クラウディア、山田直子、橋田るみ、古賀夕扇（留学生センター）
- ・横井利行、岡嶋静江（国際課）
- ・織田雅史、河野雄紀、宮城 愛、塚本高子（国際喫鳴館自治会）

## 2. 記入上の注意

このアンケートは以下のセクションに分かれています。

- A. 基礎的質問（質問 1～5）
- B. 喫鳴館に関する情報の入手について（質問 6～9）
- C. 寮の施設や設備について（質問10～12）
- D. 喫鳴館の運営について（質問13～18）
- E. 喫鳴館での人間関係について（質問19～31）
- F. 最後に（質問32）

アンケート用紙は英語と日本語で作成されていますので、どちらか理解しやすいほうを選んでお答えください。質問の意味が良くわからない場合は、もう一方も参考にしてください。

質問には次の通り3つのタイプがあります。

- 1) 与えられた回答のうち適切と思われるものを選び、番号を○で囲むタイプの質問。
- 2) 質問事項を評価し、あてはまる程度を選んで1（まったくない）から5（とても）のいずれかの数字を○で囲むタイプの質問。質問の中にはあてはまらないものや、よくわからないので回答できないものがあるかもしれません。そのときには「該当しない」、あるいは「わからない」の欄に○をつけてください。
- 3) 回答を記述する質問。これはあなたの経験や意見、コメントを書いていただくものです。日本語、または英語のうち、あなたの考えを表現しやすい言語を使用して回答してください。またアンケート用紙上でスペースが足りない場合には、他の用紙を添付してもかまいません。

## 3. アンケート用紙の回収

回答済みアンケート用紙は添付の封筒に入れ、下記のいずれかの回収箱へ提出してください。

- 1) 喫鳴館一階ロビー事務室前に設置された回収箱（月～金：8：30～22：00、土：8：30～17：00）
- 2) 留学生センターNUPACE オフィス内に設置された回収箱（月～金：9：30～16：00）

締切日：2007年12月14日（金）

## 4. 問合せ

この調査に関する質問がありましたら、下記までご連絡ください。

- ・名古屋大学留学生センター 石川クラウディア 電話：052-789-5406 E-mail: k46189a@ccnagoya-uac.jp
- ・名古屋大学留学生センター 山田直子 電話：052-789-5457 E-mail: yamada@ecis.nagoya-uac.jp
- ・国際喫鳴館寮長 織田雅史 部屋番号：A508 E-mail: n-w-o-nuo@iam.ne.jp
- ・国際喫鳴館副寮長 河野雄紀 部屋番号：A327 E-mail: konayuki@mx5.canvas.ne.jp
- ・国際喫鳴館副寮長 宮城 愛 部屋番号：A825
- ・国際喫鳴館書記長 塚本高子 部屋番号：A713



A. 基礎的質問

1) あなたの出身国はどの地域にありますか？

1. 日本
2. 東アジア（日本以外）
3. 東南アジア
4. 中央・南アジア
5. 中東
6. アフリカ
7. NIS（旧ソ連）
8. ヨーロッパ
9. 北米
10. 中南米
11. オセアニア
12. その他（ ）

2) 性別 1. 男 2. 女

3) 学生分類

1. 名古屋大学正規学生（日本国籍）
2. 名古屋大学正規学生（その他）
3. NUPACE（短期留学）生
4. 日本語・日本文化（1年コース）生

- 4) 在籍大学の学年 1. 学部（学年：1 2 3 4 5）
2. 博士前期課程（学年：1 2 3）
3. 博士後期課程（学年：1 2 3 4 5）

5) 入居時期 年 月

B. 喫鳴館に関する情報の入手について

6) 喫鳴館の入居前にどの程度、下記の情報を受け取っていましたか？

	全く 無し	1	2	3	4	5
寮に関わる諸経費（寮費：共益費；光熱費）		1	2	3	4	5
寮の施設や設備（共有スペースなど）		1	2	3	4	5
部屋の設備や家具		1	2	3	4	5
インターネットの利用		1	2	3	4	5
寮の管理システム（事務室の対応時間；自治会；BK）		1	2	3	4	5
ルールや規則		1	2	3	4	5
学生の混合（日本人寮生と外国籍寮生）		1	2	3	4	5

7) 喫鳴館の入居前にどのような情報があれば有益であったと思いますか？

8) 「喫鳴館オリエンテーション」やパンフレット、印刷物等、入居後まもなく受け取った情報はあなたの寮生活などに役立ちましたか？

	全く役立た なかった	1	2	3	4	5	非常に 役立った	わから ない
喫鳴館入居オリエンテーション		1	2	3	4	5		
喫鳴館に関する印刷物		1	2	3	4	5		
寮付近のお店や娯楽に関する印刷物		1	2	3	4	5		

9) オリエンテーションや、喫鳴館とその周辺に関する印刷物をどのようにすれば改善できるでしょうか？

C. 寮の施設や設備について

10) 自分の部屋の部屋や中の設備に満足していますか？

	大変不満					大変満足				
部屋全般	1	2	3	4	5					
ベッド	1	2	3	4	5					
シーツ・布団カバー・枕カバーのリース (外国籍学生のみ回答)	1	2	3	4	5					
ユニットバス・トイレ	1	2	3	4	5					
机・椅子	1	2	3	4	5					
床・壁	1	2	3	4	5					

10-a) 前項で1、2を選択した方はその理由を記入してください。

	理由
部屋全般	
ベッド	
シーツ・布団カバー・枕カバーのリース (外国籍学生のみ回答)	
ユニットバス・トイレ	
机・椅子	
床・壁	

10-b) 前項の問題はどのようにすれば解決できると思いますか？

11) 下記の共有スペース、共有施設の機能や使用状況に満足していますか？

	大変不満					大変満足				
キッチン	1	2	3	4	5					
ゴミ置き場	1	2	3	4	5					
洗濯室	1	2	3	4	5					
リビング	1	2	3	4	5					
ロビー・多目的ホール	1	2	3	4	5					
交流テラス	1	2	3	4	5					
メールコーナー	1	2	3	4	5					
駐輪場	1	2	3	4	5					

11-a) 前項で1又は2を選択した方はその理由を選んでください。

	狭い	汚い	使いにくい	その他
キッチン				
ゴミ置き場				
洗濯室				
リビング				
ロビー・多目的ホール				
交流テラス				
メールコーナー				
駐輪場				

11-b) 上記の問題はどのようにすれば解決できると思いますか？



E. 喫鳴館での人間関係について

19) あなたの日本語又は英語能力はどのぐらいですか？

	全く話せない				流暢／母語			
日本語	1	2	3	4	5			
英語	1	2	3	4	5			

20) あなたはどのBKに参加していますか？

- 1. 日本語BKのみ
- 2. 英語BKのみ
- 3. 両方参加している
- 4. どちらも参加していない

20-a) 前項で4を選択した方は、参加しない理由を記入して下さい。

21) 喫鳴館の中で、他の寮生とどの程度交流していますか？

	全くない				とても			
一緒に旅行する	1	2	3	4	5			
一緒に外食する	1	2	3	4	5			
パーティーや大学・寮の行事と一緒に楽しんでいる	1	2	3	4	5			
リビングなどの共有スペースで一緒に過ごす	1	2	3	4	5			
個人的なことについて話す	1	2	3	4	5			
一般的なことについて話す	1	2	3	4	5			
挨拶をする	1	2	3	4	5			

17) 喫鳴館の円滑な管理、安全、保健衛生を目的とした多くの規則や取り決めが寮全体として、あるいはフロアごとに決められています。下記の規則に対して、あなたはどの程度満足していますか？

	非常に不満足				非常に満足			
寮費の支払いに関する規則	1	2	3	4	5			
共有施設・設備の使用時間に関する規則	1	2	3	4	5			
ゴミの処理に関する規則	1	2	3	4	5			
共有スペースの清掃に関する規則（キッチン等）	1	2	3	4	5			
来訪者に関する規則	1	2	3	4	5			
その他（ ）	1	2	3	4	5			

17-a) これらの規則に改善点があるとなれば何か、指摘してください。

18) 喫鳴館での緊急時における対応方法や設備に関して、あなたはどのぐらい知っていますか？ 以下のような状況に直面した時、どのように対処すべきか、または誰に連絡すべきか知っていますか？

	まったく知らない				よく知っている			
火事するとき	1	2	3	4	5			
急にあなた自身が病気になるたとき	1	2	3	4	5			
喫鳴館の中で不審者を目撃したとき	1	2	3	4	5			

22) どのような寮生と交流していますか？

	全く交流しない			活発に交流している		
同じ地方の出身者	1	2	3	4	5	
同じ国の出身者	1	2	3	4	5	
同じ大陸の出身者	1	2	3	4	5	
日本語が話せる寮生	1	2	3	4	5	
英語が話せる寮生	1	2	3	4	5	
その他 ( )	1	2	3	4	5	

23) 他の国籍の寮生との交流が難しいと感じている場合、その主な理由は何ですか？（複数回答可）

1. 語学の問題
2. 習慣の違い
3. 価値観の違い
4. 生活時間の違い
5. イベントなど、交流機会が少ない
6. 外国籍寮生と日本人寮生の比率
7. その他 ( )
8. 該当なし

24) あなたは国際交流に興味がありますか？

全く興味がない	とても興味がある		
1	2	3	4 5

25) 様々な国籍の寮生との混住について、どう思いますか？

26) あなたが日本人寮生の場合、外国籍寮生との関係について、どの程度あてはまりますか？ また、あなたが外国籍寮生の場合、日本人寮生との関係についてどの程度あてはまりますか？

	全くない			とても		
私の国を知ることに関心を持っている	1	2	3	4	5	
異文化についてよく理解している	1	2	3	4	5	
私の考え方や価値観に敬意を払っている	1	2	3	4	5	
私を仲間として受け入れている	1	2	3	4	5	
国際的視野を持っている	1	2	3	4	5	
私に好意的である	1	2	3	4	5	
私を差別している	1	2	3	4	5	
その他 ( )	1	2	3	4	5	

27) 今までにフロアの中で何か問題が発生したことはありますか？

1. 問題がある
2. 問題はない

27-a) 前項で1を選択した方は、それはどのような問題ですか？

28) あなたのフロアで問題が生じた場合、どのように対処されますか？

1. 関係者で話し合う
2. BKで話し合う
3. 対処していない
4. その他 ( )

28-a) 前項で3を選択した方は、その理由を記入して下さい。

29) 唹鳴館に入居して以来、次の感情をどの程度感じたことがありますか？

	全くない				とても			
孤独感	1	2	3	4	5	4	3	5
ストレス	1	2	3	4	5	4	3	5
不快感	1	2	3	4	5	4	3	5
無視された感じ	1	2	3	4	5	4	3	5
歓迎されていない感じ	1	2	3	4	5	4	3	5
差別	1	2	3	4	5	4	3	5
その他 ( )	1	2	3	4	5	4	3	5

29-a) 前項で4又は5を選択した方は、その原因は何だと思いますか？

30) 寮内で個人的な問題が発生した場合、あなたは誰に相談しますか？（複数回答可）

1. 普段交流している日本人寮生

2. 普段交流している外国籍寮生

3. フロア長

4. 唹鳴館自治会

5. 寮の管理人
6. 学生総合支援課

7. 国際課

8. 他の教職員

9. その他 ( )

10. 該当なし

31) 唹鳴館での人間関係について、意見があれば書いて下さい。

F. 最後に

32) 唹鳴館の生活あるいは住環境について好きな点や気になる点など、他に意見があれば自由に書いてください。

ご協力ありがとうございました！！